

令和4年11月17日

鳥取県知事定例記者会見

孤独・孤立を防ぐ温もりのある支え愛社会づくり推進条例（案）

本人及び家族・援助者の支援に一体的に取り組む条例は
全国初

ヤングケアラー、老々介護、8050問題をはじめとする課題について、地域の絆を活かして対策を行い、孤独・孤立を防ぎ誰一人取り残さない社会をつくる

以下について、県・市町村・関係団体等の役割として規定すること等により推進

○県民、行政、事業者、関係機関等相互のネットワークの強化

→地域で必要な支援が届いていない方の発見・見守りと支援機関へのつなぎ、関係者で連携した支援の実施

○個人情報の活用

→支援に必要な情報をできる限り関係機関で共有（法令に情報共有の根拠がない場合は本人同意取得による）

○包括的な支援、制度の狭間の方への対応の充実

→高齢、障がいなど課題ごとの縦割りでなく、家族等を包括的に支援する体制整備
→地域資源の活用で新たな施策を創設すること等により制度の狭間の方に対応

○支援、相談等を担う人材の育成・確保

→直接支援やコーディネートを行う高いスキルを持った人材育成など

○必要な各種施策の推進

→アウトリーチも含めた相談体制充実、ピアサポート推進、レスパイト支援充実、修学支援 など

地域

ヤングケアラー



産後うつ



老々介護



8050問題



援助を必要とする方、それらの人を援助する身近な方で、孤独・孤立の状態にある方

包括的支援体制

県

市町村

関係機関

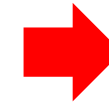
県民・事業者

ネットワークの充実

※12月定例県議会に提案予定（令和5年1月1日施行予定）

12月補正予算編成

新型コロナ第8波等緊急対策に加え、
円安・物価高騰対策・生活者支援等を積極計上



〔12月補正予算総額〕
370億円台

➤ 円安に伴う需要獲得への支援

◆ 鳥取県産業成長応援補助金(5億円)

・国内回帰に伴う新規受注獲得投資への支援加算 (+5%)

◆ 円安を契機とした海外展開強化促進事業(45百万円)

・米国、欧州等に「世界どこでもビジネス特派員」を配置
⇒ 現地企業とのネットワーク構築、タイムリーな情報提供
・越境ECサイトを活用したプロモーション強化、海外見本市への出展支援拡充



➤ 運送事業者支援

◆ 物価高騰を乗り越える物流効率化対策事業(45百万円)

・運送事業者と荷主業者が連携して物流効率化につながる設備導入等を実施する場合、最大補助率2/3、補助上限10,000千円



➤ 飲食店支援

◆ 新型コロナ安心対策認証店特別応援事業(2.8億円)

・年明け以降の飲食店需要喚起に向け、プレミアム付きお食事クーポン券(第3弾)の実施

➤ 生活者支援

◆ 孤独・孤立を防ぐ温もりのある支え愛社会づくり推進事業(7百万円)

・孤独・孤立を防ぐ温もりのある支え愛社会づくり推進条例(案)関連
支援につながるきっかけとなる相談窓口等の情報発信、うつ症状の早期発見 など

◆ 生活困窮者に係る総合支援拡充事業(13.4億円)

・生活福祉資金借入者からの相談受付や関係機関へのつなぎ等に対応する
支援員の増員 など

➤ 企業の資金繰り等への支援

◆ 新型コロナ・円安物価高騰に対応した資金繰り支援事業(3百万円) ※融資枠の増(30→50億円)

・最長5年間元本返済不要の期日一括返済型資金の増

◆ とっとり企業支援ネットワーク連携強化事業(3百万円)

・とっとり企業支援ネットワークによるアフターフォローの強化
(※専門家派遣による前向き支援を拡充)

◆ 売上や粗利が減少した中小企業者支援 等

・新商品開発や事業転換を通じた高収益化、調達先の新規開拓や共同調達化、賃金アップにつながる投資など、企業の前向きな活動への支援
※年度末まで申請期間を延長し、増額(総額10億円)

芽生え始めた新たなビジネスの胎動

ベンチャー育成プログラム「TORIGGER(トリガー)」

起業家・経営者13名が、支援者とともに7月からの5カ月間、ベンチャービジネスの初期構想を策定



⇒ ビジネスプラン発表会開催！(11/19(土)13時~@隼Lab.)

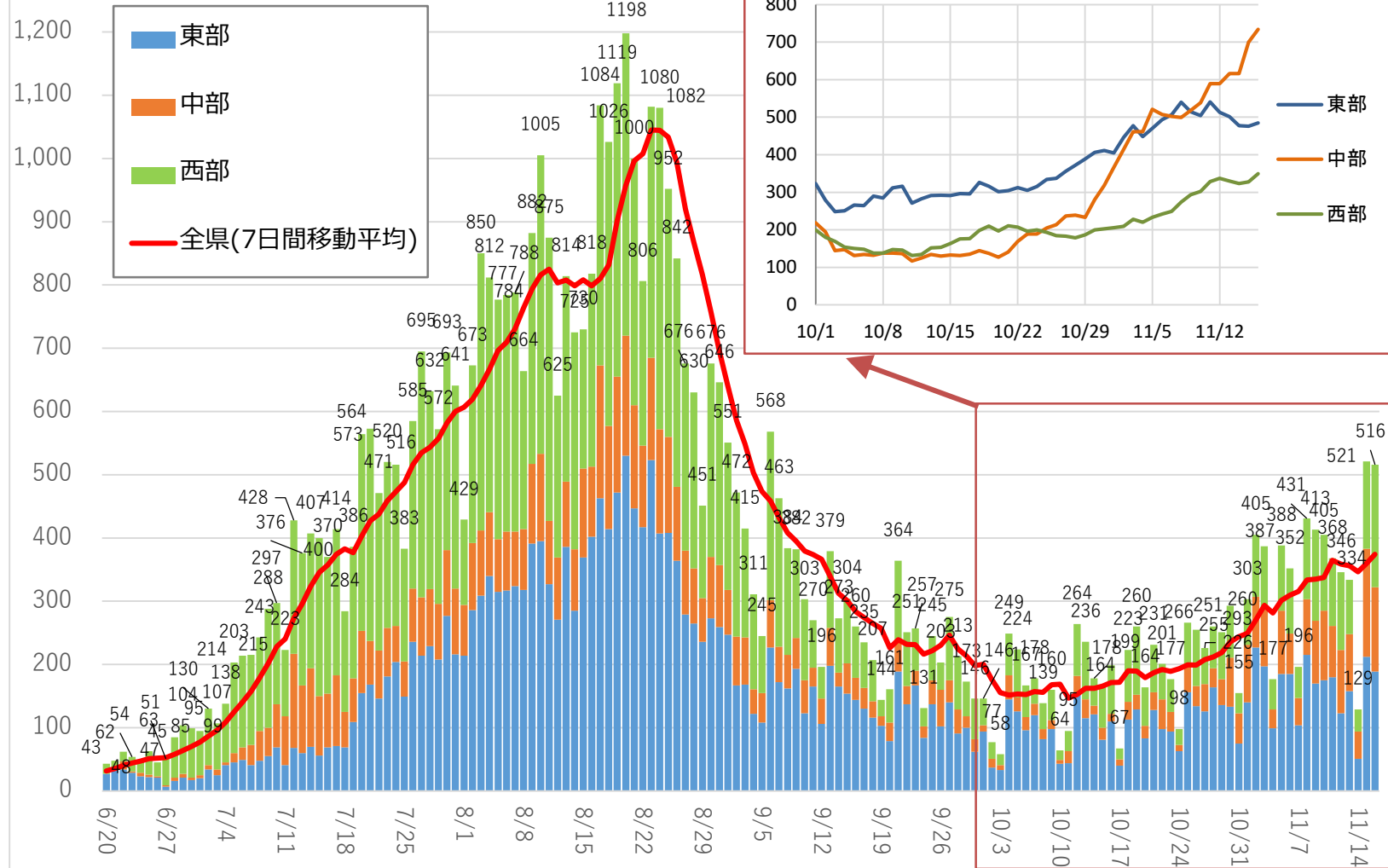
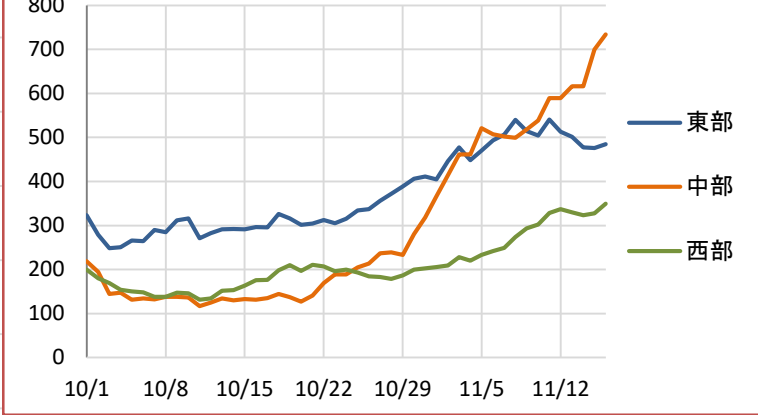
鳥取県の新規陽性者数の推移・クラスターの発生状況

【新規陽性者の推移】

西部	鳥取県版新型コロナ警報
東・中部	鳥取県版新型コロナ注意報
全県	感染拡大警戒情報

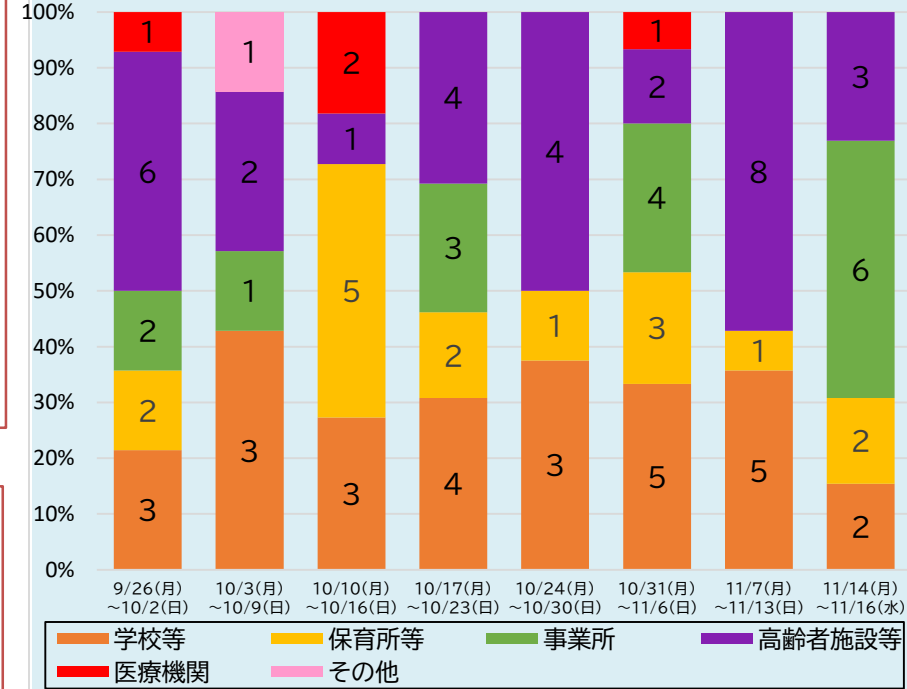
過去最多
8/20 1,198人

直近1週間10万人あたりの新規陽性者数の推移



【最近のクラスター発生状況】

- 高齢者施設、学校、保育所でのクラスターが多発
- 今週に入り、一般の事業所、官公庁、建設工事現場でのクラスターも確認



【オミクロン新系統の発生状況】

- 県内は「BA.5.2」、「BF.5」が主流で傾向に変化なし
- 全国で報告が相次ぐ「BQ.1系統(BA.5.3亜系統)」や「XBB系統(BA.2.10とBA.2.75の組換え体)」は現時点で県内未確認

【暫定運用】第8波における本県のレベル移行判断目安

本県のレベル移行判断目安<新指標>

鳥取県版 新型コロナ警報 発令基準 [圏域ごと]
注意報 病床使用率 概ね15%超
警報 病床使用率 概ね30%超
特別警報 病床使用率 概ね50%超
医療非常 事態警報 病床使用率 概ね75%超

レベル	感染状況及び医療状況【政府分科会】	移行判断目安 [全県で判定] ※コロナ検査件数・インフル流行状況も 考慮し、総合判断
1 (感染小康期)	<ul style="list-style-type: none"> ○感染者が低位推移又は徐々に増加 ○外来医療・入院医療ともに負荷は小さい 	
2 (感染拡大初期)	<ul style="list-style-type: none"> ○感染者が急速に増加し始める ○診療検査医療機関の患者数が急増、医療負荷が高まり始める ○救急外来受診者数、病床使用率も上昇傾向 	<ul style="list-style-type: none"> ■新規陽性者数 10万人あたり300人超/週 ■最大確保病床使用率 概ね30%超
3 (医療負荷増大期)	<ul style="list-style-type: none"> ○医療負荷を増大させる数の感染者が発生 ○外来医療・入院医療ともに医療負荷が増大し、ハイリスク患者の速やかな受診が困難となったり、救急搬送困難事例が急増 	<ul style="list-style-type: none"> ■新規陽性者数 10万人あたり1,000人超/週 ■最大確保病床使用率 重症病床使用率 概ね50%超
4 (医療機能不全期)	<ul style="list-style-type: none"> ○膨大な数の感染者が発生 ○発熱外来や救急外来で対応しきれず、救急搬送困難事例も把握できなくなるなど、外来医療全体がひっ迫し、機能不全状態 ○多数の医療従事者が欠勤し、入院医療がひっ迫 	<ul style="list-style-type: none"> ■新規陽性者数 10万人あたり2,000人超/週 ■最大確保病床使用率 重症病床使用率 概ね80%超

第8波感染急拡大緊急対策

外来診療・病床確保

- 【レベル2】 **受診相談センターの体制増強** → 看護協会と連携し、人員、電話回線等を機動的に増強
- 【レベル3】 **状況に応じ、医師判断によるみなし陽性を導入** → 発症した同居家族を検査なしで陽性診断可能に
- 【レベル3】 **状況に応じ、抗原検査キットによる自己検査を勧奨**(国想定手法への切り替え)
- 【レベル3】 **一般医療の制限による病床確保**

保健所・コンタクトセンター

- 【レベル2】 『県庁特別体制』で保健所・コンタクトセンターを順次増強(3000人の陽性者発生にも対応、現在60人規模の応援人員体制)
- 【レベル3】 **コンタクトセンター配置医師による自己検査陽性者の迅速な確定診断の実施**

クラスター対策・検査体制

- 【レベル2】 **医療機関、社会福祉施設、保育所・幼稚園等で職員の定期検査を実施**(12月～、週1回程度)
- 【レベル2】 発熱外来ひっ迫回避のため、状況に応じ、**有症状者に対する行政検査(PCR検査)を拡大**

緊急対策実施

- 【外来診療】 **年末年始体制強化** → ①臨時開業する医療機関・薬局支援 ②休日急患診療所の体制強化(10/27医師会と協議済)
- 【外来診療】 **各家庭での抗原検査キット、解熱剤の購入の呼びかけ**(11/17～) ※レベル1・2の段階では医療機関受診を呼びかけ
- 【治療薬】 **入院協力医療機関以外の医療機関も対象に治療薬の研修会を開催**(12月初旬予定)
- 【薬剤処方】 **在宅療養者への薬剤配送体制強化** → 地区単位での薬剤配送体制の整備(11/16薬剤師会と協議済)
- 【コンタクトセンター】 **医師配置による夜間相談体制の強化**(11/16～)
- 【クラスター対策】 **感染対策・事業継続体制の点検、施設種別に応じた感染対策の研修用動画配信**(今月順次配信)

乳幼児のワクチン接種促進事業（ワンストップ相談窓口:11/17受付開始）

乳幼児のワクチン接種を促進するため、小児科への支援のほか、県庁内に相談窓口を開設し、安心して接種していただける体制を整備

12月補正予算
1億円

小児科への財政支援



小児科医院

・専用時間帯に接種予約
⇒ 予約の集約を実現



乳幼児と保護者

あらゆる場面を通じて
接種を呼びかけ

・乳幼児接種の相談

- (1)専用時間帯開設支援
1時間/日=140千円
- (2)接種回数実績加算
5人以上/日=100千円
10人以上/日=200千円

乳幼児接種ワンストップ相談窓口

⇒ 疑問や心配事に回答、接種できる小児科を案内

電話:0857-26-7976
FAX:0857-26-8168
受付時間:午前8時30分～午後5時
(月曜日～金曜日(祝日・年末年始除く))



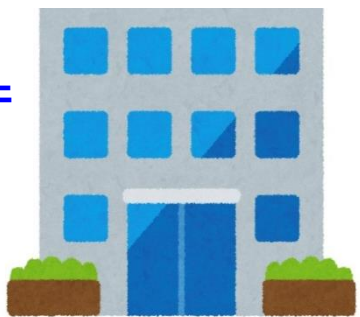
<市町村>

・定期健診(6カ月、1歳半、3歳)の際にチラシ配布や、接種の呼びかけを実施

<保育園・幼稚園>

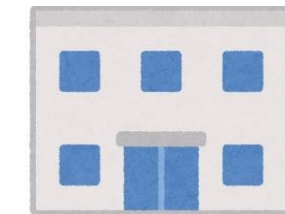
・メーリングリストを活用した情報提供
・園医による呼びかけ
・保護者会等を通じた呼びかけ

県庁



・とりネット掲載情報の共有や接種促進に向けた協力を依頼

接種可能な小児科や、乳幼児接種の理解を深める動画等の情報



市町村(母子保健)



保育園・幼稚園

冬期における道路等交通確保体制

道路の交通確保体制

除雪機械の増強	375台 (H28) → 500台 (R4)
除雪機械全車へのGPS配備	県管理除雪車の作業状況をリアルタイムで把握するため、 全車へGPSを配備
ライブカメラの増設	スタックポイント等の監視強化、路面状況確認及び情報提供 (153台 (H28) → 255台 (R4))
除雪体制の確保に向けた研修・訓練	<ul style="list-style-type: none">除雪業者に対して除雪マニュアルによる机上研修、車両基地等における実技演習を実施 (11/17)国土交通省、危機管理局、県土整備部で山陰道雪害対策訓練を実施予定 (11月下旬)
事故・スタック発生時の初動の迅速化	<ul style="list-style-type: none">速やかに交通規制が行えるよう各ICへ誘導員を配置。警察官による交通規制を要請するなど警察と連携した対応。滞留の拡大防止、早期解消を図るため、全面通行止め等の必要な措置を速やかに講じる。警察官の誘導による、追い越し、転回等により、滞留車両の早期退出など警察と連携した対応。

除雪予算

【12月補正】除雪対策事業 5億円追加
今冬の大雪予想を踏まえ、12月補正で20億円に増額。
※前年度の除雪実績 (約19億円) を上回る。

関係機関との体制の強化・再確認

- ①冬期道路交通確保対策会議の開催 (11/18)**
…国土交通省、県、市町村、警察等の合同で開催
安定した道路交通を確保するよう関係機関との連携を確認。
- ②JR西日本との緊急連絡体制を強化・再確認**
…列車停止や立ち往生等、利用者の長時間の滞留の可能性のある事象については早めの情報提供を呼びかけ。
- ③関係機関の常時リモート接続等による情報共有**
…大雪が予想される場合、関係機関が連携を密にして対応。
(道路管理者、JR西日本、警察、市町村、県危機管理局、鳥取地方气象台)

「とっとり防災フェスタ2022」合同防災訓練

3年ぶりの開催。防災関係機関による実動訓練を実施し、災害対応能力を向上。(訓練の様子はライブ配信を予定)

とき **11月19日(土)13:00～**

ところ **東郷湖羽合臨海公園(湯梨浜町) [ハワイ夢広場周辺]**

【主な訓練メニュー】

1. ヘリ、ドローンで偵察 2. 漂流者救助 3. 孤立者の救助 4. 医療救護訓練 など

子育ての安全と安心を

とっとりリトルベビーハンドブック

- 低出生体重児（2,500g未満）のための母子健康手帳の副読本を作成
⇒令和5年1月から県内のNICUや市町村を通じて毎年約200人に配付



幼稚園等での安全対策

12月補正予算 0.9億円

- 令和4年9月に静岡県の認定こども園において園児が送迎バスに置き去りにされ死亡した事件や、先週土曜日に大阪府で発生した登園児童の車内置き去り死亡事案を踏まえ、子どもたちの安全確保対策を緊急的に講じる。

送迎バス等へのブザー 設置等の安全対策

来年4月から義務付けられる幼稚園等の送迎バスへの安全装置の設置を支援
(義務付けられる施設：1台18万円、その他の施設：1台10万円)

預かり状況を確認できる 登園管理システム

スマートフォンやタブレットで登園状況を管理し、施設・保護者いずれも預かり状況をアプリでリアルタイムに確認でき、見落としや確認漏れを防ぐシステム等の導入を支援

ICTを活用した 園外活動時の見守り支援

GPS付タグなど、園外活動時等の子どもの見守り体制を強化する機器整備等を支援

出産・子育て応援給付

12月補正予算 5.6億円

- 妊娠時から出産後までの妊産婦を経済・サービス両面で支援する。
⇒市町村への妊娠届・出産届提出時にそれぞれ5万円（合計10万円）相当の経済的支援を実施

倉吉地域における事業拡大等の支援

(株) グッドスマイルカンパニー新工場へ 倉吉市に新たな生産拠点の設置計画を決定!!

フィギュア需要・海外生産リスク等を背景に、国内生産体制を強化

- ◆新工場は100名規模からスタートし、将来的には200名規模へ
- ◆倉吉市が新たに整備を検討中の工場に入居し、新工場を設置予定
 - ⇒ 市の工場整備を県工業団地整備支援補助金で支援
 - ⇒ 会社の設備投資を県産業成長応援補助金等で支援

第2工場の概要

- 操業時期: 令和7年春操業(予定)
- 事業規模: 市の工場整備規模 約10億円 (今後、詳細を検討)
- 雇用計画: 新工場は 200名規模
既存の楽月工場を含めると、220名規模の新規雇用を予定

(株) グッドスマイルカンパニーについて

- ねんどろいど等フィギュア・グッズ製造販売などコンテンツ分野の事業を展開
- 本社: 東京都千代田区外神田3-16-12
楽月工場: 倉吉市秋喜243
- 設立: 平成13年5月、平成26年12月 楽月工場竣工

オムロンスイッチアンドデバイス(株)が本社を倉吉市へ移転!

- ◆本社を岡山市から倉吉市へ移転し、併せて生産機能を集約
 - 従来のスイッチ生産に加え、新たにコネクタ等を岡山から生産移管・一元化
- ◆約70名の従業員が倉吉市へ異動して(派遣を含めると100名超)体制を拡充
 - ⇒ 平成22年に岡山市へ移転した本社(旧オムロン倉吉(株))が10年の時を経て倉吉市へ回帰!
 - ⇒ 今後の同社の事業投資等の支援について機動的に検討

スナバ国民限定キャンペーン「鳥取ふるさとラリー」

鳥取の人の温かさに触れ、まだ見ぬ魅力に出会い、鳥取を「第2のふるさと」に

対象の宿泊施設、体験メニュー利用して
電子スタンプラリーに参加すると
抽選で県内宿泊施設の宿泊券をプレゼント

11月17日<本日>～1月10日 開催



11/19(土)・20(日) 首都圏で鳥取県をPR!

そら
宙フェストTOKYO2022@日本橋(福徳の森)

星取県ブースを出展し、星取県VRの視聴体験

ゲゲゲ忌2022 ～30日(水)まで

- ・「ゲゲゲ横丁・ゲゲゲの森」に出展(調布駅前広場)※11/19・20のみ
- ・アニメ特別上映会での観光PR・知事メッセージ動画放映
※11/19、20、23、26、27、30 6日間(シアタス調布)
- ・観光PR展示、観光PR動画放映(調布市文化会館)※11/19～30

国際バカロレアフォーラム2022 in 鳥取

◇11月20日(日)13:30～15:40

◇倉吉未来中心 大ホール

国際バカロレア教育に関心を持つ生徒、保護者及び学校、
教育委員会関係者の皆様のお越しをお待ちしています。

○県立倉吉東高等学校による発表

山陰初の認定校として倉吉東高校が目指すIB教育を発信

○IB先進校によるディスカッション、成果発表

東京学芸大学附属国際中等教育学校、
セントジョセフ高校(シガポール)等の先進
校によるIB教育の実践



入場無料

鳥取県立美術館盛り上げイベントin倉吉



○気球にのろう! 「空からみる未来の美術館」(11/27)

美術館建設現場横(大御堂廃寺跡)において、高さ20mまで上がる気球に乗って未
来の美術館をしてみる体験イベントを実施。

(主催: 県立美術館と共に歩む中部地区の集い協議会 盛り上げ部会)

○大好評企画「美術館現場見学ツアー」(11/27)

申込みが後を絶たない現場見学を開催。建設中の建物内部の見学、VR体験、高さ
15mまで上がる高所作業車搭乗体験も実施。(主催: PFI事業者)

○ついにスタート! 「アート(県美)飯」(11/24～)

県立美術館応援プロジェクトとして、アートに絡めた飲食を倉吉市内の飲食店6店
が開発。ついに11月下旬から提供開始! (主催: 倉吉商工会議所青年部)